



子どもたちの 笑顔を守るために。

新学期を迎え、小さな体に大きなランドセルを背負った新入学生姿が見られるようになりました。子どもたちを新しい環境に送り出す保護者の皆さんにとって、喜びもひとしおでしょう。

しかし、同時に通学・通園中の交通事故など、自分の目の届かないところでの危険に不安を感じてはいないでしょ

うか。特に最近では、広島県

んになってきました。

や栃木県、京都府などで、子どもたちを標的とした悲惨な事件が次々に発生しています。

そんな中、笠岡市や幼稚園・小中学校では、子どもたちをあらゆる危険から守るために、新たな対策に取り組んでいます。また、住民の皆さんによる見回りや安全パトロールなど、各地域での取り組みも盛

教育委員会・幼稚園・学校の対策 こどもがいっしょに...

もし、子どもたちが危険に遭遇したとき、初期の対応が特に大切となります。

市では、授業中や登下校時に事件などが発生した際の、具体的な対応の仕方についてマニュアルを作成。保護者などへの連絡先や連絡方法、教職員の役割分担などを明確にすることにより、いざというときに迅速で的確な行動をとれるようにしています。

また、公用車での「安全パトロール」で、子どもたちが緊急時に駆け込むことができようになり、不審者など

を発見したときには関係機関へ連絡をしたりする体制を整えています。

子どもたち自身に 身を守る能力を

子どもたちが万が一、危険な場面に出会った際に、周りの人たちにそのことを知らせることができるよう、すべての児童生徒に笛を配付し、身に付けるようにしています。

また、警察署などの協力を得て、子どもたちにも不審者に出会ったときを想定して、実践的な訓練を行う「防犯教室」を開催しています。さらに、実際の通学路を想定するなど具体的な場面での対応についての指導も行っています。

こうしたことにより、子どもたち自身に危険を予測したり、危険を回避したりする能力を身につけさせることが重要なのです。

危険を未然に 防ぐために

子どもが一人で行くとき。それは、最も危険なときであるといえます。そのため、複



▶今井小学校で行われた「防犯教室」の様子。